

韓国釜山国立大学ロボット工学インターンシップ[派遣]

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2022年08月20日 ～2022年08月29日	大韓民国	釜山大学校	<ul style="list-style-type: none"> 電気工学科、機械機能工学科、材料工学科、応用化学科、電気工学科 学部2年生、学部3年生、学部4年生、修士1年生、修士2年生 	(芝浦工業大学) 学生9名、学生バイト1名、教員2名 (釜山大学校) 学生7名、学生バイト1名、教員3名、職員1名	吉見 卓(電気工学科)、安藤 吉伸(電気工学科)



特別講義

コロナ禍で中断していた、韓国釜山国立大学(PNU)とのロボット工学インターンシップ(電気工学科学学生を対象とした派遣型gPBL)を、3年ぶりに実施した。今回は、東京-釜山間の航空機直行便の運休や、渡航に際しての査証の取得、渡航前、渡航中に計3回のPCR検査が必要など、以前と異なる対応がいろいろと必要で、準備が非常に大変であったが、何とか全ての準備を終え、引率教員、TA各1名、参加者9名(2年生5名、4年生2名、大学院修士2年生2名)で、8/19(金)から30(火)の11泊12日の日程で、PNU機械工学科計測制御研究室のMin Cheol Lee教授の研究室を訪問した。(SITの引率教員は、2名が途中で交代。また、当初は期間中に、釜山の隣町、蔚山にある蔚山大学(UoU)のKanghyun Jo教授の研究室も訪問する予定であったが、コロナ禍での感染予防の観点から、移動は最小限とし、今回はPNUだけを訪問した。)今回のgPBLでは、参加した9名のSITの学生と、7名のPNUの学生が3つのグループに分かれ、ロボット工学に関わる3つのテーマ、①Kinematics、②Control、③Deep Learningの課題解決に取り組んだ。まだ専門科目を履修途中の2年生学生にとっては、若干難しいテーマ設定ではあったが、上級生のサポートを受けて、グループのメンバーと英語でコミュニケーションを取りながら、ロボット制御に関わる具体的な課題解決に取り組み、実際に機器を動かして、最後に結果を英語で発表した経験は、今後、グローバルな技術者を目指して専門科目の学修を進めていく彼らにとって、大いに役立ったと思われる。実質8日間のプログラムでは、上記課題解決への取り組み以外に、PNUの関連研究室見学や参加教員による特別講義の聴講、韓国ロボット関係学会地方支部主催の講演会への参加など、盛りだくさんな内容で、参加した学生達は、ロボット工学を大いに体験することができた。また、現地学生との交流により、お互いが理解を深め、将来の日韓関係の更なる発展にも貢献できたのではないと思われる。今後も相互にgPBLを開催することで、日韓の学生達のグローバルな技術者に向けたマインド醸成と交流の機会としていきたい。



特別講義を聴講



課題への取り組み



研究室見学



皆で昼食



シンポジウムのバンケット



ビーチへのフィールドトリップ